



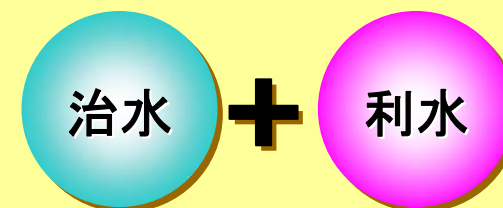
1. 河川整備基本方針・河川整備計画について (新しい河川整備の計画制度)

◆ 河川法改正の流れ

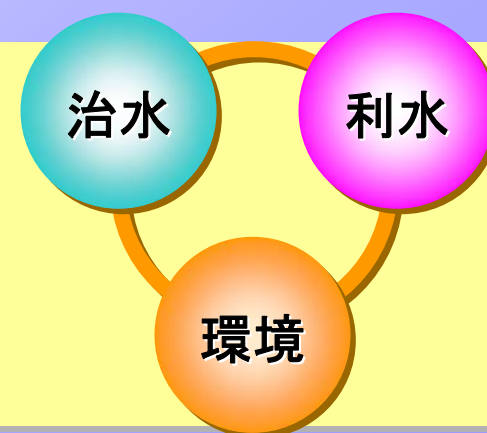
明治29年(1896年)
→ 近代河川法の誕生



昭和39年(1964年)
→ 治水・利水の体系的な制度の整備
・水系一貫管理制度の導入
・利水関係規定の整備

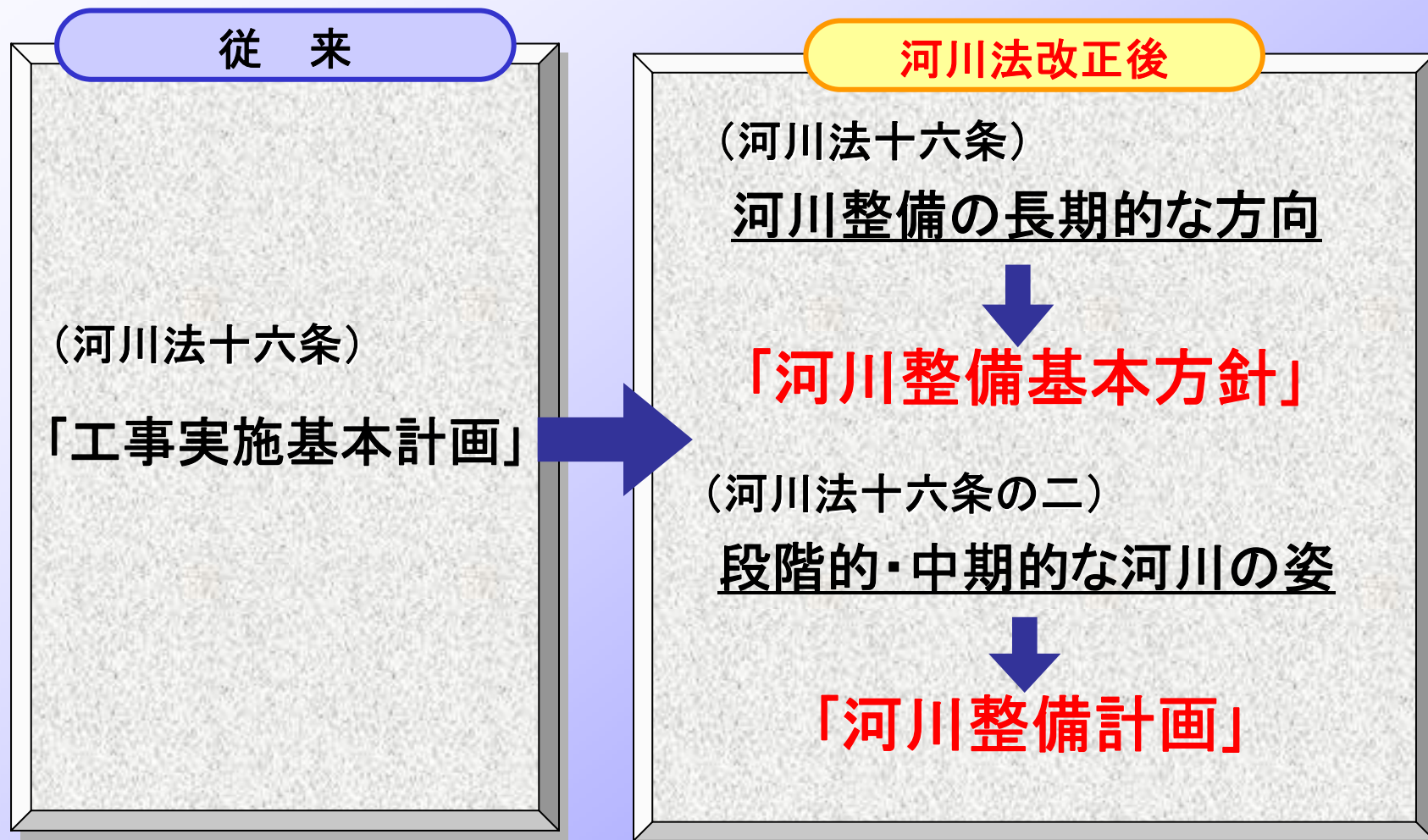


平成9年(1997年)
→ 治水・利水・環境の総合的な河川制度の整備
・河川環境の整備と保全
・地域の意見を反映した
河川整備の計画制度の導入

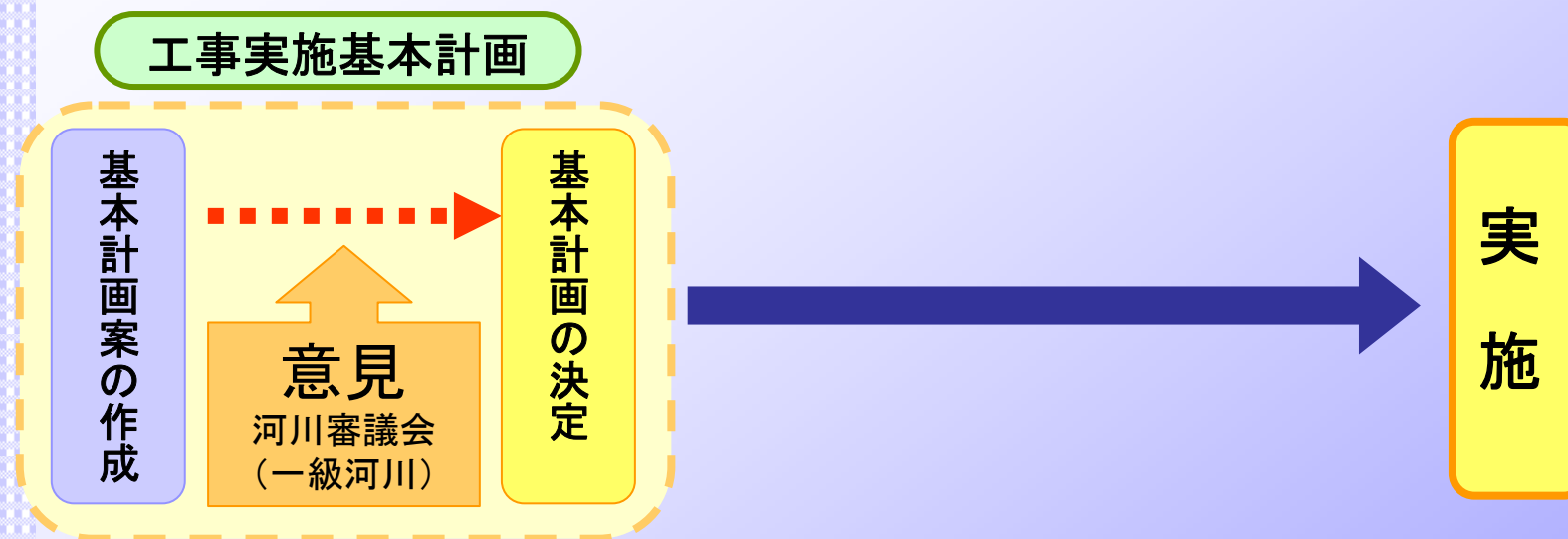


◆ 河川法改正の流れ

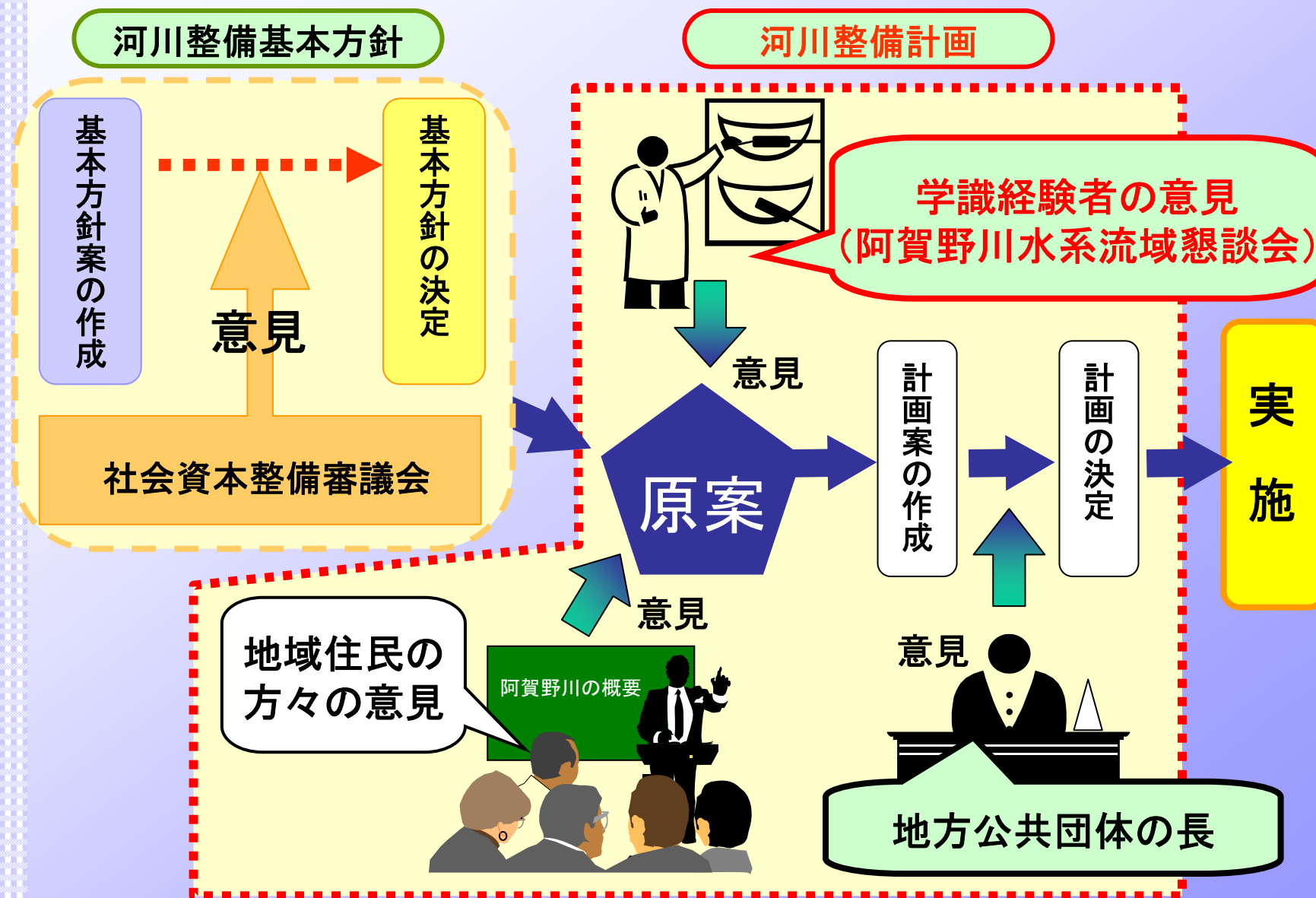
河川整備基本方針および河川整備計画の位置付け



◆ 改正前の計画制度



◆ 新しい計画制度



◆ 新たに加わった計画

河川整備基本方針（長期的な基本計画）

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

- 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減
- 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持
- 河川環境の整備と保全

2. 河川工事の実施の基本となるべき計画に関する事項

- 基本高水及びその河道と洪水調節施設への配分
- 主要な地点の計画高水流量
- 主要な地点の流水の正常な機能を維持するために必要な流量

河川整備計画（20～30年の具体的・段階的な計画）

1. 河川整備の目標

- 河川整備計画の対象区間、対象期間
- 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する目標
- 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持に関する目標
- 河川環境の整備と保全に関する目標

2. 河川工事の実施に関する事項

- 河川工事の目的、種類、施行の場所
- 当該工事による主要な河川管理施設の機能
- 河川の維持の目的、種類、施行の場所

◆「河川整備計画」の策定

河川整備計画に盛り込む内容

【 河川の概要 】

【 河川の現状と課題 】

- 防災
- 河川の利用・活用
- 河川環境

【 河川整備の目標 】……………政令第十条の三第一項

20～30年の整備計画の目標

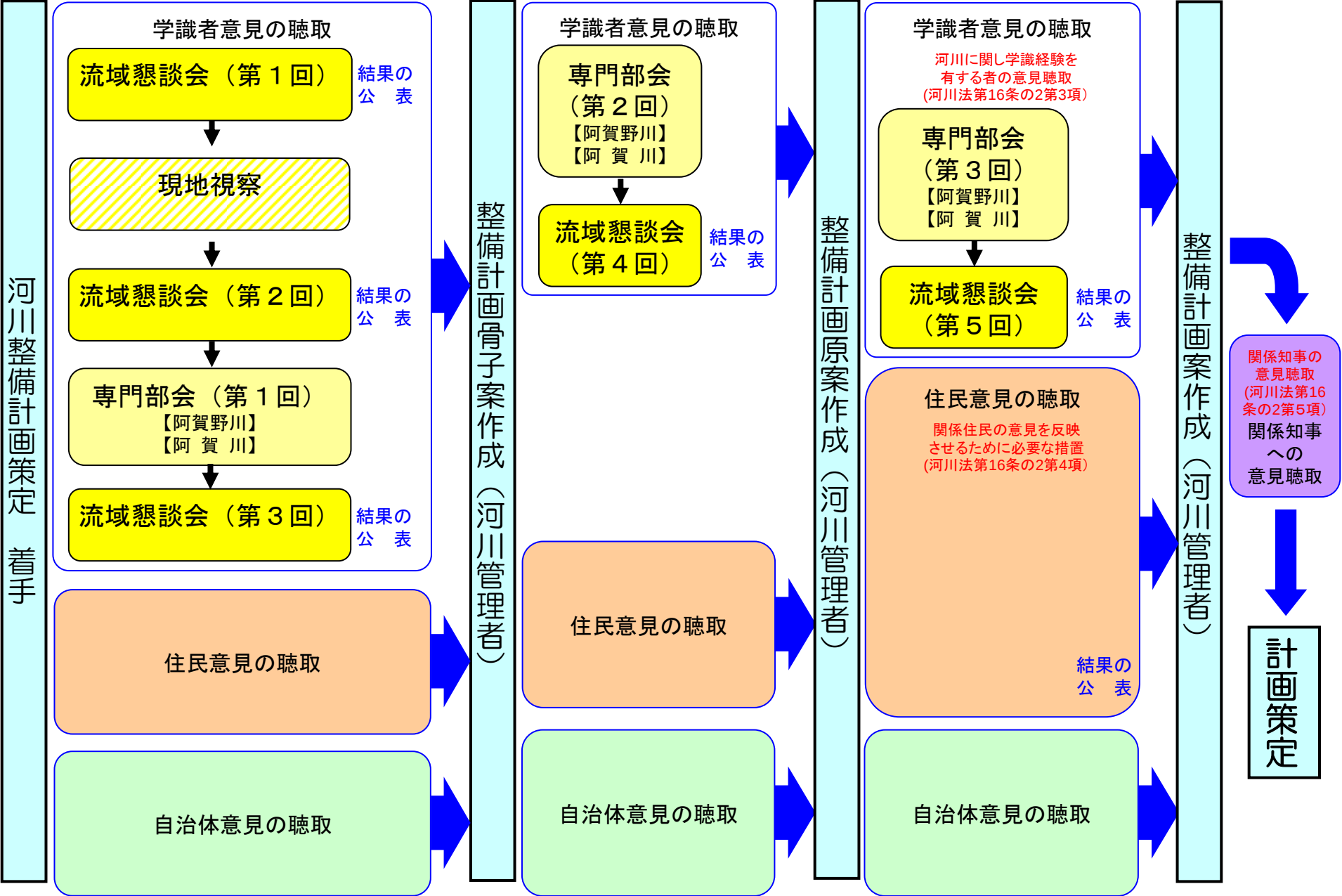
- 災害の発生の防止
- 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持
- 河川環境の整備と保全

【 河川整備の実施内容 】……………政令第十条の三第二項

目標の達成に向けた具体的な対策の内容

- 河川工事の目的、種類、施行の場所
- 当該工事による主要な河川管理施設の機能
- 河川の維持の目的、種類、施行の場所

阿賀野川水系河川整備計画の策定フロー



◆ 流域懇談会の位置づけ、役割

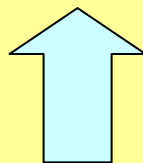
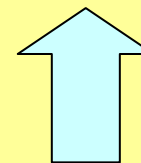
- ・「河川整備計画」の策定に際しては、「関係地方公共団体の長」、「学識経験者(阿賀野川水系流域懇談会)」、「地域住民」等に意見を頂き、反映させる手続きを導入
- ・阿賀野川水系の現状と課題を踏まえて、学識経験者として、阿賀野川水系の川づくりについてのご意見を頂く
- ・地域住民の方々からの意見を河川整備計画に反映するための意見聴取方法等についてのご意見を頂く

阿賀野川水系流域懇談会の構成、各部会の審議事項

阿賀野川水系流域懇談会

阿賀野川水系流域懇談会

- ・規約など、懇談会の運営に関する事項
- ・流域住民から意見聴取する方法に関する事項
- ・報告を受けた事項に関し調整を行うとともに、懇談会としての意見のとりまとめ

検討結果
報告検討結果
報告

上流部会

- ・阿賀川河川事務所管理区間の整備に関する事項

下流部会

- ・阿賀野川河川事務所管理区間の整備に関する事項

専 門 部 会

阿賀野川水系流域懇談会 専門部会 委員

資料－①

【上流部会】

氏名	所属・役職 専門分野	
阿部 護郎	会津南部土地改良区連合 理事長	農業利水
冠木 忠之	(財)日本野鳥の会 会津支部	自然環境(鳥類)
菅家 一郎	会津治水事業促進期成同盟会 会長	地域社会
齊藤 梅朗	NPO 法人 会津阿賀川流域ネットワーク 理事長	地域づくり
坂下 諭	福島県植物研究会	自然環境(植物)
長林 久夫	日本大学 工学部 教授	河川工学
中村 玄正	日本大学工学部 学術フロンティア事業研究員 (日本大学工学部前教授)	水質・水環境
成田 宏一	会津生物同好会	自然環境 (魚介類)
野口 信一	会津若松市立会津図書館 館長	歴史・文化・文芸・教育
古川 仁志	電源開発(株) 東日本支店 支店長代理	エネルギー
馬淵 義雄	塩川町商工会長	観光・地域経済

【下流部会】

氏名	所属・役職 専門分野	
阿部 學	ラブタージャパン (日本猛禽類研究機構) 理事長	自然環境(鳥類)
伊藤 充	新潟市立新潟小学校 校長	歴史・文化・文芸・教育
鹿島 武司	新潟県内水面漁業協同組合連合会 専務理事	内水面漁業
紙谷 智彦	新潟大学 農学部 自然科学系教授	自然環境(植物)
齋藤 吉平	麒麟山酒造(株) 代表取締役会長	観光・地域経済
佐々木 富夫	元新潟市消防団 団長	防災・危機管理
清水 重蔵	ビュー福島潟 館長	地域づくり
永山 庸男	新潟大学大学院 技術経営研究科 技術経営講座 教授	経営学
細山田 得三	長岡技術科学大学 工学部 准教授	河川工学
天野 市榮	阿賀野川治水協会 会長	地域社会
本間 義治	新潟大学 名誉教授	自然環境 (魚介類)
松田 昭悦	阿賀用水右岸土地改良区連合 理事長	農業水利
三沢 眞一	新潟大学 農学部 教授	農業土木
山田 正	中央大学 理工学部 教授	河川工学
渡辺 英美子	新潟日報社 情報文化センター 情報文化部長兼論説委員	歴史・文化・文芸・教育

河川整備計画策定の各段階における 住民意見聴取の目的

意見聴取	目的
検討着手 段階	・ 今後の整備計画策定の取組みについて住民へ知らせる ・ 今後の阿賀野川に対する幅広い意見をもらう。 →課題、議論の方向性について骨子案策定時の参考とする。
骨子案 段階	・ 骨子案の内容を広く住民に知らせる ・ 骨子案及び原案策定に対する意見をもらう。
原案 段階	・ 原案及びこれまでの意見聴取結果を知らせる。 ・ 原案に対する意見を聴取する。 ・ 阿賀野川流域の意見を集約していく。

阿賀野川における意見聴取方法

種 類	具体的方法(メニュー)
説明会等を開催して意見聴取	・説明会等での意見聴取(流域市町村の公共施設) ・パネル展(イベント併設、流域市町村内の集客施設等)
既存の施設や広報媒体を利用した意見募集	・縦覧コーナー設置による意見募集 (阿賀野川河川事務所、阿賀川河川事務所、沿川市町村役場等) ・インターネット等による意見募集 (事務所HPへの掲載し、関係機関HPにリンク)
※取り組み内容や説明会等の事前広報	・記者発表、自治体広報誌への掲載 ・事務所HPへの掲載 ・縦覧コーナー、イベント等での掲示 など